

「地球変動予測研究情報システム」が運用を開始

平成11年10月28日

海洋科学技術センター

1. 海洋科学技術センター（理事長 平野拓也）は、スーパーコンピュータ（SX-5）を中心とした「地球変動予測研究情報システム」（別紙 1）の運用を11月1日から開始する。
2. 「地球変動予測研究情報システム」は、宇宙開発事業団との共同プロジェクトである「地球フロンティア研究システム」（システム長 松野太郎）専用の計算機システムであり、平成 10年度補正予算により当センターに導入が認められた。
本システムは、平成 13年度末に運用開始予定の「地球シミュレータ」との間で膨大な量の同化データ、大気海洋大循環モデル等の計算結果等の授受が予想されるため、地球シミュレータ施設の設置場所である横浜市金沢区の元神奈川県工業試験所跡地に設置することとした。
3. 本システムの運用開始に当たり、下記により、本システムを公開するとともに、「地球フロンティア研究システム」でどのような研究に利用されるかに関する概要説明を実施する。

<日時> 平成11年10月29日（金）

11:30～11:45 研究者による地球変動予測研究及び本システムの目的等の説明

12:00～14:00 システム一般公開

※11:45～12:00は招待者見学会を行います。

<場所> 横浜市金沢区昭和町 3173 元神奈川県工業試験所跡地（別紙 2参照）

本件連絡先：

地球フロンティア研究システム合同推進事務局

TEL 03-5404-7849 担当：大塚

TEL 03-5765-7100 担当：菊池、赤井

海洋科学技術センター

普及・広報課 担当：池川、木村

TEL 0468-67-3806

ホームページ <http://www.jamstec.go.jp>

別紙 1

地球変動予測研究情報システムの構成



